

総合的な学習の時間

6 学年 単元名 「かがやけ〇〇！災害に強い町をつくろう」

70時間

目 標	〇〇地区の災害の歴史や防災について調べたり伝えたりする活動を通して、防災や安全の仕組みや人々の願いに気づき、地域の防災のためにできることを考えるとともに、学んだことを自らの生活や行動に生かそうとする。	評価 規 準	【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
			①地域の防災や安全を守る仕組みは、地域の人と思いを共有し、協働することで持続可能なものとなることを理解している。(有限性) ②地域の防災や安全を守る仕組みについて学んだことは自分の生活と深く関わっていることを理解している。(相互性) ③防災の仕組みについて調べたり、避難所を開設する体験をしたりして収集した情報について、図や文章でまとめる技能が身に付いている。(技能)	①地域の特徴と災害の関わりについて、課題を設定している。(課題設定) ②課題解決に必要な情報を手段を選択して収集している。(情報収集) ③収集した情報を取捨選択したり複数の情報を比較したり関連付けたりしながら解決に向けて考えている。(整理分析) ④伝える相手や目的に応じて調べたことや自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。(まとめ表現)	①防災との関わりから自らの生活の在り方を見直そうとしている。(主体的な態度) ②友達と協力して調査したり、地域の人たちから話を聞いたりして課題解決に取り組もうとしている。(協働的な態度) ③課題解決の状況を振り返り、あきらめずに課題解決に向けて取り組もうとしている。(粘り強い取組)

学習 過程	学習活動	子どもの意識の流れ	時間	学習形態	教師の支援や指導上の留意点	評 価			地域素材との関連
						知	思	態	
つか む	●〇〇町のPRの題材をみつける。 ・前学年までに学習した、〇〇のよさについて振り返り、他にPRするための題材がないかを考える。 ・〇〇における「安全」について考える。	・安心して住めるところがいいな。 ・人がやさしいところがいいな。	3	クラス	・様々な考えを導き出すために、短冊や付箋を活用し整理させる。 ・住みたい町の観点として、「便利さ」だけではなく「安全」が重要視されていることに気づかせるために、ランキング資料を提示する。 ・普段の生活の中でも関心を持続させるために、授業だけでなく家庭でも家族の体験談を聞いて調べさせる。	①	①	①	公民館 〇〇支所 地域作り協議会
追 究 す る ①	●〇〇の災害の歴史や防災への取り組みについて知り、自分たちの課題を決める。 ・〇〇に関わる災害はどんなものがあるかを出し合い、「地震」「雪害」「火山」「台風」「竜巻・強風」「雷」などの小課題を決める。	・御嶽山や箱根山など、火山の噴火が続いているね。 ・東日本大震災のとき、〇〇地区の被害は他地区よりひどかったらしいよ。	3	クラス	・「防犯」はパトロール、「交通」は旗振りなど、地域の人に関わってくれていることから、防災についてはどうなのかという視点をもたせる。 ・〇〇地区が、前橋市の防災マップの警戒地区に示されていないことから、自然災害について調べていく方向をもたせる。	① ②	①	②	
	●災害について調べる ・内容、方法を明確にして調査の計画を立てる。 ・計画に従い、調査活動をする。 ・個人で調査したことを、グループで整理・分析しながら、繰り返し追究する。	・地域のお年寄りに教えてもらおうよ。 ・〇〇支所へ行こう。 ・昔から、いろいろな災害の被害があったんだね。 ・災害の種類によって、防災の備えをしなくてはならないかな。	12	クラス グループ 個人	・必要な情報を取捨選択できるようにするために、「原因」「予測される危険」「気をつけること」「実際の被害の様子」「〇〇での被害」など、調べる内容や観点、方法を明確にする。 ・調べ学習を充実させるために、冊子や映像資料などを準備しておく。 ・地域の人やお年寄りにインタビューなどをして調べるように促す。 ・〇〇支所、消防署などの関連施設と連絡をとり、スムーズに調査活動ができるように調整する。 ・学校や地域で取り組めることはないか考えさせる。	① ②	②	③	〇〇村百年史 農家の方 〇〇支所 公民館 図書館
	●日本・世界各地で発生している災害について取材する。 ・口永良部島、桜島、浅間山、フィリピン地震など ・朝または帰りの会の中のスピーチで、災害の記事について紹介する。	・いろいろな被害があるな。 ・被害から身を守る方法を知らなくちゃ。 ・学校や地域で取り組めることはないかな。	6	個人	・地域学習と同時進行で調べ学習を進める。 ・世界・日本各地で、今発生している災害について感心をもち、被害状況等について、共有することで学習に活かす。 ・災害や防災に関わることについての1分間スピーチを朝の会に実施することで意識のつながりをつくっていく。 ・新聞記事の切り抜きなどの掲示スペースを用意する。	① ②	②	③	
	●〇〇に必要な防災について調べたことをまとめ、発表の準備をする。 ・グループごとに発表形式を決め、内容をまとめる。 ・より分かりやすく伝えるために、画像や表などの資料を活用する。 ・学級においてワークショップ形式で発表を行う。 ・他の班からのアドバイスをもとに改善策を考える。	・学習して考えたこともいっしょにつたえよう。 ・自分の身を守るために大切なことは・・・ ・災害やその被害について知っておくといね。 ・災害の種類によって、被害の状況はいろいろだけれど・・・ ・家に住めなくなったらどうしよう。	8	グループ	・まとめた資料をもとに発表を行う。 ・他のグループに対して自分なりの感想をもち、自分の結果と比較できるよう、ワークシートや付箋を用いて学習に取り組ませる。 ・効果的な発表にするために、資料の工夫をしたり、聞き手の立場を考えたりし、発表の仕方を確認させる。 ・よりよい発表にするための改善点を考えるために、付箋紙やアドバイスシートを用いて他のグループと意見交換し合う場を取り入れたり、KJ法を用いて整理や分析をしたりさせる。	③	③	③	
	●下級生や家の人に向けて発表する。 ・他の班の意見や感想をもとに、資料や発表の仕方を修正する。 ・下級生や家の人に向けて発表をする。	・家の人にも知らせて、地域の人にも広めてほしいな。 ・災害の種類によって、被害の状況はいろいろだけれど・・・ ・〇〇地区に大きな災害がおこったらどうしたらいいのかな。	6	グループ	・アドバイスをすべて取り入れるのではなく、班で必要な物を選ばせて修正させる。 ・校内だけではなく、地域の人にも招き発表を聞いてもらうことで自己有用感を高める。 ・「災害に対する備え」や「地域のはたらき」の重要性から、次の単元へのつながりをもたせる。	③	④	② ③	保護者

追究する ②	<ul style="list-style-type: none"> ●課題を持つ。 ・災害を想定したシミュレーションをする。 ・前単元で調べたことをもとにして、避難所開設について必要なことや、自分たちができることを考える。 ・「物資分配」「グループ分け」「受付」「食事」などの小課題を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は避難所になってるんだよね。 ・寝るとき、布団とかはどうするのだろう。 ・リーダーはだれかな。 	5	クラス	<ul style="list-style-type: none"> ・災害の想定を自分のこととしてとらえることで、想像力、考える力を持たせるために日本赤十字社の「防災教育プログラム」を活用してシミュレーションを行う。 ・前単元で調べたことを振り返り、被害の様子や必要なことを想起させる。 	①	①	①	自治会
	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所開設の計画を立てる。 ・他校での訓練の様子や東日本大震災の避難所運営について調べる。 ・必要な防災グッズを確かめる。 ・避難所開設のシミュレーションを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理室の人に聞いてみよう。 ・本やインターネットにも出ていると思うよ。 ・学校にある防災グッズってどんなものがあるの？ ・足りない物もあるかもしれないね。 ・東日本大震災のときの避難所運営について調べよう。 ・教室も避難所になっているよ。先生も地域の方といっしょに運営していたところもあるよ。 	8	クラス グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を取捨選択できるようにするために、調べる内容や観点、方法を明確にする。 ・インターネットや辞書、関連の書籍などを使って調べさせる。 ・避難所運営についての基本的な知識を得られる資料を用意する。 ・避難所運営を具体的にイメージさせるために、避難所運営ゲーム「HUG」を活用する。 ・他校や危機管理室との連携を取り、避難所開設についてのアドバイスをいただけるようにする。 	① ② ③	①	② ③	危機管理室 更生保護婦人会 施設利用団体
	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所開設の体験をする。 ・役割を分担し、体験活動をする。 ・体験を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室も避難所になっているよ。先生も地域の方といっしょに運営していたところもあるよ。 	5	学年 グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会との連絡を取り、連携がとれるようにする。 ・積極的な体験ができるように、自分の役割を自覚させ、何をすればいいのか把握させておく。 ・体験を振り返り、うまくいったところや失敗、疑問点などを記録させる。 		②		
<ul style="list-style-type: none"> ●体験したことをまとめ、発表の準備をする。 ・出てきた課題や疑問について調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所開設って思っていたより大変だったな。 ・そのときの様子をどうやって伝えようかな。 ・相手によく伝わるように、発表の練習もしよう。 	7	グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・体験を伝えるために適した発表方法を選ばせる。 ・うまくいかなかったことや反省点を生かせるようにする。 ・相手を意識し、より分かりやすく伝えるために、画像や表などの資料を活用させる。 ・調べたことの中から必要なことをえらんでまとめさせる。 	③	③	② ③		
まとめる	<ul style="list-style-type: none"> ●体験の様子を発表する。 ・グループごとに発表する。 ・他のグループの発表を見て、感想や質問を出し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろ体験したり、調べたりして、いろいろな災害のことがわかったな・・・ ・災害被害から身を守るためには、日頃の備えが大切だなあ。 	2	グループ クラス	<ul style="list-style-type: none"> ・校内だけでなく、公民館や学校HPなどで校外にも発信できるようにする。 ・お互いの班の発表の中でよかったポイントを見つけ、ワークシートに記入させる。 ・あいさつや衛生管理など、普段の行動がいざというときにも役立つことを意識させる。 	③	④	②	学校評議員 自治会 高齢者施設の方々 保護者
	<ul style="list-style-type: none"> ●これまでの取り組みを振り返る。 ・まとめの作文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇のいろいろないいところをPRできたね。 ・もっと地域を大切にしよう。 	3	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・4年間の総合的な学習の時間から、地域との関わりが大切なことや〇〇地区のすばらしさを振り返らせる。 ・これから自分がどのように地域と関わっていきたいかをテーマとした作文を書かせる。 	① ② ③	④	③	